

平成30年度大東四條畷消防組合議会 行政視察報告書

1. 日程 平成30年11月5日（月）
2. 視察地 〒612-8235 京都市伏見区横大路下三栖東ノロ
京都大学防災研究所宇治川ホープンラボラトリー
3. 視察者 大東四條畷消防組合議会議員 9名
議 長 寺坂 修一
副議長 瓜生 照代
議 員 大東 真司
議 員 天野 一之
議 員 水落 康一郎
議 員 澤田 貞良
議 員 藤本 美佐子
議 員 吉田 裕彦
議 員 曾田 平治
随行 消防次長 田中 伸和
総務課長 堤 悟士
総務課課長補佐 古川 智広

4. 研修目的

平成30年7月に発生した西日本豪雨災害を受け、ゲリラ豪雨等による都市型水災害に関する専門的なメカニズムを学習するとともに、実際に体験することで災害対策の識見を高めるもの。

5. 研修内容

(1) 講義

- ア 大東市及び四條畷市における降水量について（日本国内及び世界都市と比較して）
- イ 沖積平野（大東市・四條畷市）と洪積平野（NY）の違い
- ウ 土砂災害事例（深層崩壊・表層崩壊）
- エ 気候変動と斜面崩壊の関係
- オ 洪水・土砂災害の解析（開発した災害危険度表示アプリ紹介）
- カ 2018年7月の広島土砂災害（発生状況、原因、発生時期、避難所の設置）
- キ 大東市・四條畷市における土砂災害計画区域について

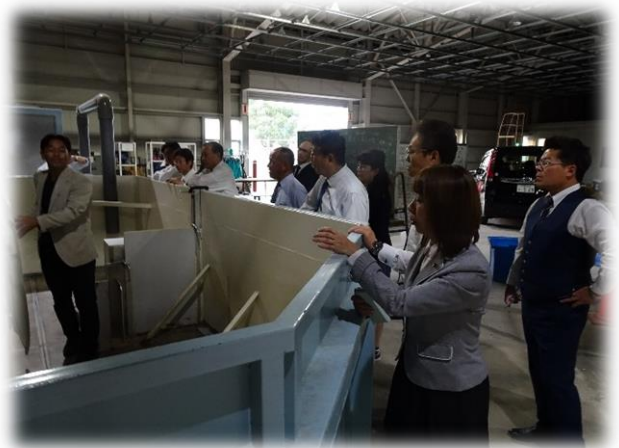
(2) 体験

- ア 雨水流出実験装置 【第1実験室】
時間雨量100mmの豪雨体験
- イ 実物大階段模型 【第1実験室】
京都市に実在する地下階段を用いて流入する氾濫水階段昇体験
- ウ 浸水体験実験装置（ドア模型）【第2実験室】
20cm～50cmの水位におけるドア開閉体験

視察研修



講義の様子



教授による体験内容説明の様子



体験の様子

